

## 第36回Next30産学フォーラム

1月22日(月)、Next30産学フォーラムは36回目のフォーラムを名古屋市内にて開催、27名が参加した。

今回は、岐阜大学応用生物科学部准教授の椎名貴彦氏による講演、東海学園大学経営学部准教授の山田裕昭氏による講演&ワークショップを行った。



椎名准教授

椎名氏は、「ストレスによって下痢や便秘になるのは、なぜ? ~胃腸運動をコントロールする神経系の秘密を探る~」をテーマに、消化管障害はストレスによる自律神経系のバランスの崩れ

が主な要因であることを説明。排便や大腸運動にはセロトニン等の酵素が大きく関与することを突き止め、「今後この作用を治療や医薬品の実用化につながるよう研究を進めていきたい」と述べた。



山田准教授

山田氏は、「ものづくりにおける競争力について-QDC+F-※」をテーマに、競争力のある企業は生産工程のマネジメントに優れ、かつユーザーに魅力のある製品を提供できている

ことを説明。参加者は競争力の構成要素を学ぶため、4人グループで決められた工程に沿って役割



を分担しながら紙飛行機を製作する課題に取り組んだ。紙飛行機は飛行距離、時間内に製作した数、コスト等で評価され、参加者はものづくりにおける競争力とはどのような意味なのか理解を深めた。

引き続き開催した懇親会ではポスターセッションを実施し、三重大学地域イノベーション推進機構助教の加藤貴也氏が「力学的に背骨の動きを見ることで、優しい腰痛治療ができるかも?」をテーマに、名古屋市立大学看護学部助教の細川陸也氏が「幼児期の社会的スキルの発達に影響する環境因子」をテーマに、研究内容を紹介した。人体模型など興味を引くツールを活用して詳しく説明する等、多くの参加者が両氏の発表に深く理解を示した。

※Q:Quality、D:Delivery、C:Cost、F:Flexibility  
(イノベーション推進部 水田 晴久)

## 第3回経済委員会

1月29日(月)、経済委員会は平成29年度3回目の委員会を開催、31名が参加した。



今回は、提言書「中部圏5.0の提唱~中部圏におけるSociety5.0の姿と実現に必要な努力~」の原案について最終審議を行った。

委員からは、「女性の活躍についての記述に“男女平等”という表現を加えてはどうか」「ITリテラシーの差が所得格差を生む可能性がある」との記述に“変化に取り残される”との視点から論じてはどうか」「完成した提言書は官や学に対しても広めてほしい」等、多数の意見があがった。

## 委員会活動

今回の委員会では出された意見を踏まえた上で修正案を取りまとめ、2月度正・副会長会および総合政策会議に上程することとした。

(調査部 井川 佳明)

### 第4回国際委員会

1月31日(水)、国際委員会は平成29年度4回目の委員会を開催、委員長の大島副会長をはじめ44名が参加した。

今回で4回目となる「国際情勢をテーマとする連続講演会」では、伊藤忠商事(株)伊藤忠経済研究所所長の秋山勇氏ならびに主席研究員の武田淳氏を講師に迎え、「世界情勢の注目点」と「二期目を迎える習近平政権の注目点」をテーマにご講演いただいた。



秋山所長

秋山氏は、選挙イヤーで揺れる米国、緊張が高まる中東情勢、試練が続くEU等、世界情勢について概説を行った。武田氏は、中国習近平政権の1期目の政治情勢、経済政策、金融情

勢と、今後の経済の見通し等について日本企業が注目すべきポイントを含めて説明を行った(本誌4月号に武田氏の講演要旨を掲載予定)。



武田主席研究員による講演の様子

国際委員会のもう一つの柱である「地域のグローバル化、国際競争力強化に資する独自活動」に関しては、昨年9月に行った「国際委員会アンケート」の結果を基に、事務局からインバウンドの課題として「海外から見た中部圏の魅力向上に関する提案の作成」、アウトバウンドの課題として「海外進出企業による、進出希望企業への情報提供の仕組みの構築」を提案し、議論を行った。

今後、2月度正・副会長会に諮り、3月度総合政策会議において来年度からの活動方針として報告を行う予定である。

(国際部 平山 りえ)

## 会員入会のお知らせ

2月5日(月)開催の総合政策会議において、承認された新入会員をご紹介します。

### ■ 株式会社コアズ

[登録者] 代表取締役社長 小塚 喜城

[所在地] 名古屋市中区錦一丁目7-34 ステージ錦I [TEL]052(202)0018

### ■ 株式会社ジェイ エイ シー リクルートメント

[登録者] 代表取締役社長 松園 健

[所在地] 名古屋市中区錦二丁目9-27 NMF名古屋伏見ビル [TEL]052(857)5221